グローカル人材PBL Sa

佛教大学　社会学部　３年

宮本理花　米澤美佳　石川康太
久世龍太　中林明日香　中村綾那
藤林怜平　菅原大貴　福田稜介

～京丹後市豊栄地区での目的～

京丹後市が抱える問題である

人口減少（少子高齢化）、地域の衰退、

インフラ（公共交通）整備の遅れ、地域産業・伝統継承担い手不足

などの解決策を地域の人々と考え、対策を実践に移し、

その効果や影響を身をもって確かめ、グローカル人材を目指すこと。

今回の活動を通して豊栄地区が少しでも活性化、

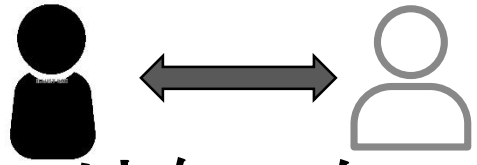
または、そのきっかけづくりができればと考えています。

豊栄地域の魅力発信
提案書

藤林　怜平
菅原　大貴
宮本　理花

私たちが考える魅力発信とは

地域と学生が考える魅力には違いがあるのでは？



→その違いが今後の豊栄の魅力発信に活かせるのではないか…

↓

地域の方が考える魅力＋私たちが感じた地域の魅力

＝交流人口増加×「第二の故郷」としてPR

↓

初めて来ても愛着のわく地域づくり

提案　豊栄の歩き方地図の作成

1.〇〇地区単位ではなく楽しみ方でエリアを分ける

2.京丹後市の観光協会のホームページや海の京都DMOなどに掲載

ex)海が楽しめるスポット、景色がいいスポットなど

→初めての人でも把握しやすいようにする

3.その上で、ebike（電動自転車）ならすべて楽しめるとPR

頂いたご意見と考察

1.観光コースを「収益化」する為にあたって何が必要なのか
　→地域の方からの情報収集、新たな魅力の構築
2.観光コースにはどのくらいの時間を要するのか、
　観光を収益化するにはそれに見合った体験が必要
　　→他プロジェクトと協働
　　各スポットでの形として残る思い出づくりの構築

1.観光コースを「収益化」する為にあたって何が必要なのか

・他プロジェクトと協働

①「花いっぱいプロジェクト」と協働

→桜の他にも植物を植えた上でコースを作成し、拝観料（大人：1000円、子ども500円）などを設ける

※密を避けるため、有料の場所を設ける

②「商品開発プロジェクト」と協働

→開発された商品をセット商品やお得サービス付きで協働で販売する。

➔場所によってはスポットやコースが追加されると考察

2.観光コースにはどのくらいの時間を要するのか

→各コースに付き2～3時間

①スポットでの体験（形として残る思い出づくり）

<u>私たちが訪れた場所を基に考案</u>

（目的）お洒落かつ今までになかったものを取り入れる

対象：若い働き世代の方　＋　最後に「へしこカフェ」に行きつくコース

➔　（形・記憶に残る思い出づくり）

・「レストこのしろ」での乗馬体験など　＋　BBQといったイベントの開催

・船でのカニを取る体験や地引網体験などをコース作成した上で行う

etc.

花いっぱいプロジェクト

(中林・中村・米澤)

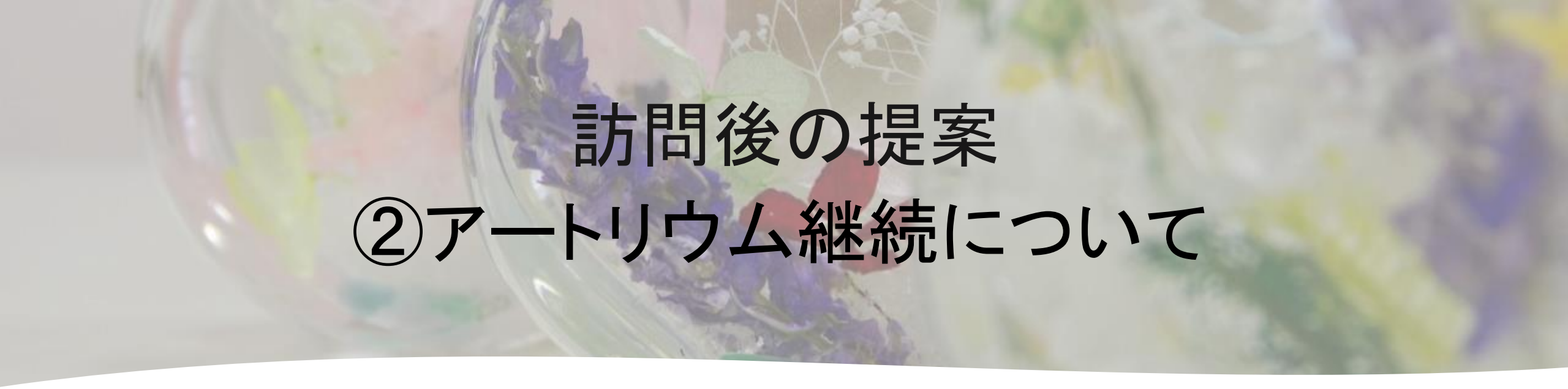
旧豊栄小学校
周辺地域の活用提案
⇒ドライフラワー展・桜保全
　季節の花々の植栽・SNS運用

アートリウム教室の実施

訪問後の提案

①都会と田舎との交流の場を作る

桜は春のみしか咲かないため秋は寂しい…
秋やほかの季節にも持続的に人々が訪れるスポットを作りたい。
(例)金木犀の木を植える



訪問後の提案
②アートリウム継続について

アートリウムは原材料費が多くかかるため
利益を得ることは困難ではないかと判断
実際フリマアプリでも売れているものは少ない・・・

↓

利益を求めることよりも....地域住民との関わりを持つ
“コミュニティの場”を作るという目的で続けていく！

訪問後の提案

③花いっぱいプロジェクトとしての理想

①②を行うためにも持続可能性を求めるため資金となる事業が必要

シーグラス・陶器の欠片販売で資金調達！

現地研修で丹後の海に訪れた際に見たシーグラス・陶器の欠片発見により・・・

シーグラス
陶器の欠片販売案

「いつ」＝オールシーズン

「どこで」＝京丹後のシーグラスの見つかる海岸全域（車で移動）

「誰が」＝拾う人：豊栄の大人（子連れ可）

包装する人：主婦層～高齢者

販売対象：ハンドメイド好き若者～主婦層

「何を」＝シーグラス、陶器の欠片

「どのように」＝「故郷の海を綺麗にスタンプラリー」で景品プレゼント

「なぜ」＝SDGs/アートリウムでの地域活性化活動のための資金調達。

⇒△豊栄のものではない…付加価値が必要ではないか？

※付加価値＝SDGs…

海を綺麗にしていくという観点で物語性を生み出すことで可能ではないのか？

クラウドファンディング(過去事例）

トヨサカファンディング

- 豊栄夏花火はみんなで作ることを目的にしています。
- 打ち上げられる花火の数や大きさから、最大20万円規模の花火プロジェクトとなります。

支援総額※

294,400円

目標金額 200,000円

支援者

105人

※2020/08/22 12時現在

生産活動に関する費用について

値段設定：300gで1200円

①豪華賞品のプレゼント
（スタンプラリーを行う子どもに付き添いは親や地域のコミュニティを利用）
②クラウドファンディング
（地域内外から豊栄を知ってもらう・資金を募る）

手数料：120円（設定価格の10%）

豪華賞品代：適宜300から500円程度

送料：メルカリで300～500円

算出される利益
680円

商品開発グループ

主な活動内容

・佛教大学グローカル人材PBLと連携した商品開発

丹後の特産品である「丹後ちりめん」を使用した小物づくりを行っています。他にも豊栄の資源を使った産品について私たち佛教大学生と豊栄の方々と連携しながら試作・市販を行います

活動目的

豊栄地区の活性化と豊栄小学校の利活用、障碍者の方々にも働く環境をつくり関わる全ての人が喜ぶ環境をつくる

現在はコロナウィルスの影響により、現地に行くことは難しいため活動のほとんどがzoomとなっています…

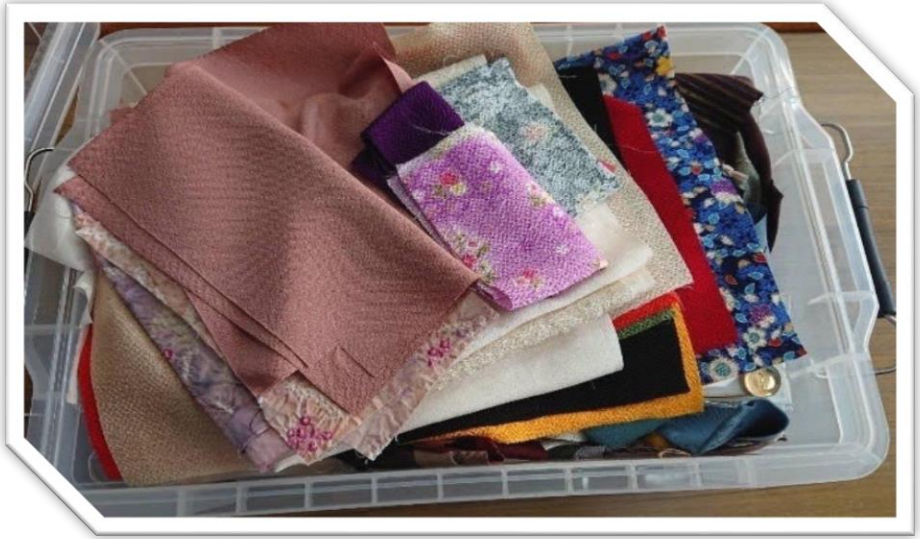
Zoomでは豊栄の方々に私たち学生視点のアイデアを提案し、それに対し意見や見解をいただいています。

現在、実際に小物制作を進めています！

今後の活動について

ちりめんの端切れを使用した小物や丹後の特産品を使用したスイーツなど色々検討中です！

実際に販売することを目標としています！



実は端切れでもお金がかかってしまいます･･･

大判10枚程度で
約1500～2500円かかります。

ちりめんアクセサリーの利用

現在のちりめんネックレスを応用して高年齢層に向けたクッズを作成

現在ネックレスの
空白部分へレンズを装着

老眼鏡のような使い方ができるネックレスとして利用可能

提案書

～柿を用いた商品開発～

実際に調理していただいた「柿チップス」

現状

・豊栄地域には民家に柿が多く自生
→クマやサルなどの野生動物が
　人里に降りてきて危険

・柿の処理が大変

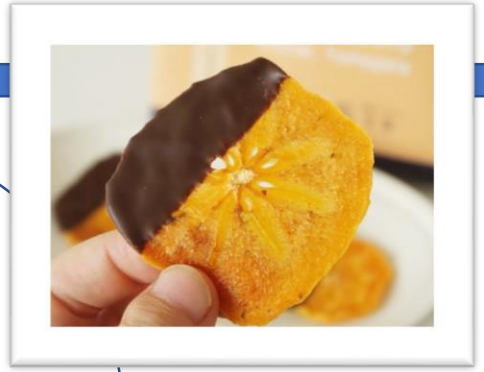
提案

・<u>柿を使用した商品開発・販売</u>

活動内容

・柿を使用した商品開発。
・豊栄地域の方達との意見交換。
・ゼミでの試食

どんな商品ができる？



柿チョコチップス

柿の天ぷら

柿のジュース

万人受けするのは「柿チョコチップス」

作りやすく、チョコも使用しているので万人受けしやすい。

簡単で毎回同じクオリティで提供できる

作成方法　（オーブン編）

※乾燥機を使用するより時間が短いため

柿を2～3mmにカット

・この時点でオーブンは160度で予熱

・柿のへたはとり皮を剥く

クッキングシートを敷いたオーブンで30分焼く

・160度のオーブンで30分焼く

・柿がひと回り小さくなったら取り出す

・粗熱を取る

柿の半分をチョコに付け冷凍

・チョコを湯せんで溶かしておく

・チョコをつけ、シートに並べて冷凍

手順・価格等について

主なプロセス

・各ゼミで試食、意見交換行い商品を改良
→<u>若者目線からの意見</u>

・柿が旬である8月中旬から～11月に柿調達。

・民家の柿を採集し、加工する
→<u>柿の採取方法等が課題</u>

人件費・加工費等

・909円（京都の最低賃金）
・柿10個（約2キロ）⇨ ５００円程度（仮）
・加工費　→　50円程度円

販売ルート

・アプリ（ＢＡＳＥ　メルカリ）
・佛教大学の食堂、道の駅

柿の実はその
年どしによって
まちまちなため
農家業の閑散期にどうか

竹の問題点

竹は強い繁殖力

↓

他の植物を侵食、里山の生態系を変えてしまうほか、根が浅いために土砂崩れなどの災害を引き起こす恐れがある。

↓

竹を再利用できないか

竹の再利用

竹は、伐採するとすぐに切り口へ蟻などの虫
が寄ってくるほど、糖質を多く含む
↓
乳酸発酵させた竹パウダーを野菜・果樹や
稲などの作物に与えると、糖度が高くなり
倒伏や病気に耐える丈夫なものに育つ
↓
豊栄地域の農家の方々の肥料として竹を再利用

ご清聴ありがとうございました。
ぜひ、豊栄に足を運んでみてください！